

令和5年度文部科学省委託事業 体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト
「子どもたちの心を育む神々の大地での体験プログラム」(一般社団法人 神奈川大井の里体験観光協会)

試行・検証等のテーマ

子どもたちの豊かな心を育む『心の教育』

背景 ・ 課題

今までの感覚では考えられないほどのスピードで子どもの教育の状況や子どもが置かれた環境が変化しています。また、教育における課題も山積し、社会の変化と融合してますます複雑化しています。新しい時代に対応する教育基本法、学校教育法が改正されており、それを踏まえて、自身を見つめ、他者との関わりを醸成する力を養うため、子どもたちの穏やかな心を育み、未来を拓く力を育成する「心の教育」について検証した。

事業の ねらい

昨今、子どもの置かれた環境が悪化する中、都心部の喧噪から離れ、身も心も清められる寺や神社、山、森にて宿坊、座禅、写経、森林浴や自然との対峙などの体験を通じ、子どもの心の教育に寄与することを目的として実施した。

事業内容

<実施にかかる体制>

2市3町での体験活動を(一社)神奈川大井の里体験観光協会が全体コーディネートして造成・実施に当たった。

<テーマに基づいた試行、検証等の方法>

申込時の参加動機、事業実施前アンケート調査、事業実施後アンケート調査、並びに1ヶ月後アンケート調査を行い、子どもたちの意識変容について分析するとともに、子どもたちの心の教育にどのように寄与したかを検証した。

<活動の内容>

○実施期間: 2023年8月21日(月)~25日(金)の4泊5日

○実施場所

: 神奈川県足柄上郡南足柄市・大井町・山北町・松田町、伊勢原市の社寺や山、川、里山など

○参加者属性、人数

: 小学校4年生7名/男4名、女3名、5年生5名/男3名、女2名、6年生2名/男1名、女1名の計14名

○具体的なプログラム内容

: 社寺での宿坊体験を軸として、自然の中で自身と対峙する体験交流プログラムを実施した。



成果

「体験活動参加後からフォローアップの子供たちの心理的・行動的側面の変化」にて、「困っている友だちを助ける」($p=0.096$)と「はじめて会った人(友だち)と仲良くなれる」($p=0.084$)に関して、体験活動参加後からフォローアップにかけて、10%水準で統計学的有意な得点の向上が認められた。結果から、体験活動への参加が、その後の学校やふだんの生活における「他者を思いやる力」や「コミュニケーションを通じて人間関係を築く力」の醸成につながった可能性が推察できる。

※詳細は別紙「成果報告書」参照

<https://taikenkankou.com/1251412487125232010726989225772157826360.html>

今後の 展開

今回実施検証した体験交流プログラムにおいて、子どもたちの心の教育に寄与することが示唆された。関係団体との連携を通じて、このような体験交流事業の実施の重要性を県内小学校へ成果報告するとともに、加害授業等にて実施いただけるようアプローチを行っていきたいと思う。

また、県内のみならず、県境を超えて教育旅行等での実施に向けた提案をj図っていききたいと思う。